

## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月14日

上場会社名 トレンダーズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6069 URL <https://www.trenders.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒川 涼子  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 田中 隼人 TEL 03-5774-8876  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	4,611	50.2	658	117.9	669	124.1	462	131.8
2022年3月期第2四半期	3,070	100.9	302	36.1	298	33.1	199	27.7

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 463百万円 (132.0%) 2022年3月期第2四半期 199百万円 (27.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	64.48	60.73
2022年3月期第2四半期	28.00	26.79

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	4,944	3,143	63.5
2022年3月期	4,711	2,792	59.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 3,140百万円 2022年3月期 2,789百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2023年3月期	—	0.00			
2023年3月期（予想）			—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,400	12.8	850	43.2	850	43.6	570	42.6	79.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社（社名）、除外 1社（株式会社MimiTV）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	7,617,400株	2022年3月期	7,608,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	433,785株	2022年3月期	433,685株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	7,177,683株	2022年3月期2Q	7,130,286株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループが属するインターネット広告市場は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響があった中でも着実な成長を続け、2021年の市場規模は2兆7,052億円(前年比21.4%増)に到達し、マスコミ四媒体の広告費の合計を初めて上回りました。また、2021年の日本の総広告費も前年比10.4%増の6兆7,998億円であり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で落ち込んだ前年から回復しております。(※1)

インターネットが社会全体のインフラとなっている現在、インターネットでアクセスできる各種プラットフォームやWebサイト、Webサービス等は、生活者にとって欠かせない情報源であり、中でも、多種多様なアカウントより発信される情報をリアルタイムで入手できるSNSは、生活者の意識や購買行動に与える影響力を増しております。企業においても、SNSを活用したマーケティングに注力する動きが加速しており、2022年のソーシャルメディアマーケティングの市場規模は、前年比23.0%増の9,317億円と拡大する見込みです。(※2)

(※1) 出典：株式会社電通「2021年 日本の広告費」

(※2) 出典：サイバー・バズ/デジタルインファクト調べ

こうした環境のもと、当社グループにおいては、顧客企業及び生活者のニーズに合致するSNSを軸としたデジタルマーケティングソリューションの開発・提供に注力いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	4,611,816千円(前年同期比50.2%増)
営業利益	658,046千円(前年同期比117.9%増)
経常利益	669,408千円(前年同期比124.1%増)
親会社株主に帰属する四半期純利益	462,825千円(前年同期比131.8%増)

セグメント別の業績は以下のとおりです。

## ①マーケティング事業

マーケティング事業は、「マーケティングソリューション領域」「ブランド・メディア開発領域」「メディカルビューティー領域」の3領域から構成されます。各領域の内容は以下の通りであります。

<マーケティングソリューション領域>

主に美容・食品飲料カテゴリの顧客企業に向けたSNSマーケティング支援

<ブランド・メディア開発領域>

自社メディアの運営と化粧品の輸入販売

<メディカルビューティー領域>

美容クリニック専売品の開発・販売とクリニックの総合プロデュース・運営支援

本事業においては、引き続き旺盛なSNSマーケティング需要を背景として、マーケティングソリューション領域のインフルエンサーサービスと美容メディアであるMimiTV等が好調に推移してまいりました。また、当該サービスとの連携強化及び複数の特定代理店との取引増加により、SNS広告の取扱額も拡大いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	4,256,642千円(前年同期比40.1%増)
セグメント利益	599,687千円(前年同期比86.4%増)

## ②インベストメント事業

インベストメント事業は、保有する資金を効果的、効率的に運用するため、非上場会社等への投資を行っております。

本事業においては、営業投資有価証券として保有する社債の利息収益と、投資事業有限責任組合出資持分の譲渡による収益が発生いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

なお、売上高の対前年同期増減率は1,000%を超えるため、記載しておりません。

売上高	355,173千円（前年同期比ー）
セグメント利益	114,906千円（前年同期比268.0%増）

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は4,944,021千円（前連結会計年度末比232,445千円増加）となりました。主な要因は、営業投資有価証券が増加したことによるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は1,800,359千円（前連結会計年度末比119,003千円減少）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益の増加に伴い法人税等が増加したことによる未払法人税等の増加、及び短期借入金の増加があった一方で、納税により未払消費税等が減少したことによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は3,143,662千円（前連結会計年度末比351,449千円増加）となりました。主な要因は、配当金の支払いがあった一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,646,298千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は72,417千円（前年同期間は257,967千円の獲得）となりました。この主な要因は、営業投資有価証券の取得や消費税等の支払いによる未払消費税等の減少、法人税等の支払いがあった一方で、税金等調整前四半期純利益を計上したことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は21,784千円（前年同期間は23,244千円の使用）となりました。この主な要因は、無形固定資産の取得に伴う支出によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は12,209千円（前年同期間は103,559千円の使用）となりました。この主な要因は、短期借入れによる収入があった一方で、配当金の支払があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました内容から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,607,873	1,646,298
受取手形及び売掛金	1,004,816	993,691
営業投資有価証券	1,762,094	1,923,404
商品	22,656	15,686
仕掛品	29,389	35,497
その他	35,570	73,960
貸倒引当金	△1,018	△1,005
流動資産合計	4,461,382	4,687,533
固定資産		
有形固定資産	60,185	54,956
無形固定資産		
のれん	25,241	22,717
その他	78,068	93,802
無形固定資産合計	103,310	116,520
投資その他の資産	86,696	85,011
固定資産合計	250,193	256,488
資産合計	4,711,576	4,944,021
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	506,910	484,795
短期借入金	700,000	800,000
未払法人税等	121,080	217,290
その他	571,821	278,696
流動負債合計	1,899,813	1,780,783
固定負債		
資産除去債務	19,550	19,576
固定負債合計	19,550	19,576
負債合計	1,919,363	1,800,359
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	564,855	566,441
資本剰余金	545,344	546,930
利益剰余金	1,977,106	2,325,142
自己株式	△297,551	△297,714
株主資本合計	2,789,754	3,140,800
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	436
その他の包括利益累計額合計	—	436
新株予約権	2,458	2,425
純資産合計	2,792,212	3,143,662
負債純資産合計	4,711,576	4,944,021

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	3,070,840	4,611,816
売上原価	2,197,304	3,211,989
売上総利益	873,535	1,399,827
販売費及び一般管理費	571,530	741,780
営業利益	302,004	658,046
営業外収益		
助成金収入	—	14,513
雑収入	569	697
その他	3	4
営業外収益合計	573	15,215
営業外費用		
支払利息	3,911	3,624
その他	0	229
営業外費用合計	3,912	3,854
経常利益	298,664	669,408
特別利益		
事業譲渡益	—	4,755
特別利益合計	—	4,755
税金等調整前四半期純利益	298,664	674,164
法人税、住民税及び事業税	95,734	208,541
法人税等調整額	3,275	2,797
法人税等合計	99,010	211,338
四半期純利益	199,654	462,825
親会社株主に帰属する四半期純利益	199,654	462,825

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	199,654	462,825
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	436
その他の包括利益合計	—	436
四半期包括利益	199,654	463,261
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	199,654	463,261
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	298,664	674,164
減価償却費	9,637	16,608
のれん償却額	1,987	2,524
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△88	△13
受取利息及び受取配当金	△3	△4
支払利息	3,911	3,624
事業譲渡損益 (△は益)	—	△4,755
助成金収入	—	△14,513
売上債権の増減額 (△は増加)	△142,351	11,124
棚卸資産の増減額 (△は増加)	348	1,205
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	—	△160,874
仕入債務の増減額 (△は減少)	120,376	△22,114
未払消費税等の増減額 (△は減少)	87,694	△236,604
その他	△29,715	△86,951
小計	350,461	183,418
利息及び配当金の受取額	3	4
利息の支払額	△3,911	△3,624
助成金の受取額	—	14,513
法人税等の支払額	△88,586	△122,710
法人税等の還付額	—	816
営業活動によるキャッシュ・フロー	257,967	72,417
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,145	△189
無形固定資産の取得による支出	△19,098	△25,150
事業譲渡による収入	—	5,000
敷金の差入による支出	—	△1,084
その他	—	△359
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,244	△21,784
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	100,000
自己株式の取得による支出	△28	△162
配当金の支払額	△106,446	△115,186
株式の発行による収入	2,916	3,139
財務活動によるキャッシュ・フロー	△103,559	△12,209
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	131,164	38,424
現金及び現金同等物の期首残高	1,408,919	1,607,873
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,540,084	1,646,298

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前題に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	マーケティング 事業	インベストメ ント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,038,670	32,169	3,070,840	—	3,070,840
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,038,670	32,169	3,070,840	—	3,070,840
セグメント利益又はセグメント損失（△）	321,741	31,220	352,962	△50,958	302,004

（注）1. セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額△50,958千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	マーケティング 事業	インベストメ ント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,256,642	355,173	4,611,816	—	4,611,816
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,256,642	355,173	4,611,816	—	4,611,816
セグメント利益又は セグメント損失（△）	599,687	114,906	714,593	△56,546	658,046

（注）1. セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額△56,546千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。